

交付対象の事業	事業概要	実績額（円）	本事業における重要業績評価指数（KPI）	実績値	総合戦略における位置付け	事務局による検証	有識者会議による効果検証	町議会における意見等
屋久島町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 ※効果検証対象外	<p>【策定支援委託】 8,965 千円 「屋久島町地方創生総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。</p> <p>【策定事務補助（人件費）】 1,020 千円 「屋久島町地方創生総合戦略」を策定する事務補助員を雇用する。</p> <p>【策定消耗品購入】 25 千円 策定に必要な消耗品の購入</p>	10,000,000						
基幹作物を活用した販路開拓事業	<p>島外から市場に興味関心の強い地域おこし協力隊を呼び込み、屋久島における基幹作物等の現状を分析するとともに、実情に即した販売拡大活動を展開する。</p> <p>また、島内で製造されている農林水産物を原料とした商品についても、島外にむけてのPRを展開し消費拡大を図る。</p>	5,122,113	新規たんかん取扱 い店：3 店舗増	新規たんかん取扱 い店：14 店舗増※	基本目標Ⅰ：屋久島らしい働き方の確立と経済活動の循環 戦略プロジェクト：儲かる農林水産業プロジェクト	・KPIは達成できたが、地域おこし協力隊の活用等、やり切れていない部分もあった。	・新規取扱店舗が継続的に取り扱ってくれるようネットワークを作っていくべき。	・店舗数だけでなく、たんかんそのものの取扱数もKPIに設定すべきでは。 ・流通だけでなく所得向上に繋がる仕組みまでしっかりと構築してほしい。どう付加価値をつけるか、もう一歩進んだ施策にして欲しかった。
移住促進事業	<p>【移住促進住宅リフォーム事業】 5,200 千円 移住をする前に屋久島での生活が体験できるように、町の遊休施設を改修し移住促進住宅を整備する。希望者は1年間の体験移住が可能。</p> <p>【リクルーティング拠点施設運営事業（屋久島大使館）】 4,000 千円 移住者相談の総合的窓口や離島であるが故に不足する人材を戦略的にリクルートする拠点を都市部で行うために、法人事務所の一部を間借りし運営する。</p> <p>【移住者情報サイト構築事業】 1,255 千円 移住に関する、生活・雇用・空家情報のポータルサイトを構築する。</p> <p>【移住啓発用媒体作成事業】 2,700 千円 移住を啓発するために、ポスター・紙袋・ポリ袋を作製する。</p>	13,155,000	移住相談 10 人 体験移住者数 3 人 移住者数 1 人	移住相談 38 件 64 人（内屋久島大使館 9 件 32 人） 体験移住者数 4 世帯 6 人 移住者数 7 人	基本目標Ⅱ：屋久島を起点とした教育・交流・移住サイクルの確立 戦略プロジェクト：屋久島 bank プロジェクト	<p>【移住促進住宅】 ・KPIを達成し、効果が得られた。</p> <p>【屋久島大使館】 ・KPIは達成したが、設置場所等も悪く効果が少なかった。</p> <p>【情報サイト】 ・あと少し、情報を広範に取り入れられるよう鋭意努力する。</p> <p>【啓発媒体】 ・配布先を定め、早急に配布する。</p>	<p>・本事業で、以下の方向性が出てきた点は評価する。</p> <p>【移住促進住宅】 ・今後も進めてほしい。</p> <p>【屋久島大使館】 ・より効果的で予算のかからない方法を模索し、継続することが大事。</p> <p>・島外だけでなく、島内にも仕組みづくりを。</p> <p>【情報サイト】 ・サイトから直接気軽に問い合わせができる仕組みの検討を。</p>	<p>・屋久島大使館は十分な効果があったのか。事業を継続するかも含めて見直しが必要。</p> <p>・移住施策と観光施策を連携させる仕組みも検討してほしい。</p> <p>・どういう人材が不足しているのか、地域のニーズに合う人材に移住してもらえるような施策してほしい。</p>

交付対象の事業	事業概要	実績額（円）	本事業における重要業績評価指数（KPI）	実績値	総合戦略における位置付け	事務局による検証	有識者会議による効果検証	町議会における意見等
地域産品の開発と販売促進支援事業	【地域産品活用商品開発販売委託】 有害鳥獣（シカ）を活用して、お土産品を製造するための調査・商品化・販売をする。	4,000,000	地域産品を活用した新商品1品 新商品販売先2店	地域産品を活用した新商品1品 新商品販売先9店	基本目標Ⅰ：屋久島らしい働き方の確立と経済活動の循環 戦略プロジェクト：屋久島のご馳走プロジェクト	・KPIを達成することができた。	・特に意見なし。	・島内のお土産屋さんを対象にKPIを設定しているが、外に打って出られる商品づくりも視野に入れてほしい。
消費喚起プレミアム商品券発行事業	事業主体を商工会（補助金として交付）とし、町内の消費喚起のためにプレミアム付商品券を発行。 プレミアム率：15%（1冊15,000円分（額面1,000円券11枚+500円券1枚綴り）を10,000円で販売） 販売額／発行総額230,000,000円（発行枚数20,000セット） 購入限度：1人あたり一月10セットまで 発売開始日・販売方法：平成27年6月1日開始。 商工会本所、支所窓口及び移動販売（6/3～6/5：各地区公民館等）にて販売 利用期間：平成27年6月1日～11月30日（6か月間）	34,425,239		230,000,000円を全額発行（2万冊） 換金実績は229,779,500円 全体消費効果343,800,000円	基本目標Ⅰ：屋久島らしい働き方の確立と経済活動の循環 戦略プロジェクト：地域資源の融合化プロジェクト	・町内全体的には1億1千万の新たな経済循環ができた。	・ほとんど大型店に流れているので、もっと小規模店舗に流れる仕組みが必要だったのでは。 ・大型店でも使用可とすることで、早く完売でき、会員じゃない事業所が会員になったりもした。	
その他全般意見								<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIを設定するにあたっては、もともとの数をしっかり把握して適正に設定するようにしては。</li> <li>・費用対効果が低いと感じるので、しっかりと検証してほしい。</li> <li>・今回の議会の意見も踏まえて、PDCAサイクルのActionのサイクルにしっかりと反映させてほしい。</li> </ul>

屋久島町では、今後「屋久島町まち・ひと・しごと総合戦略」を推進していくうえで、関係各所から頂いたご意見を十分に反映し、PDCAサイクルのもと事業の見直し等を進めていきたいと考えております。町のホームページで総合戦略は見るができますので、ご意見等ある方は担当までご連絡いただけますと幸いです。

※PDCAサイクル・・・Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法の事。

※KPI・・・目標を達成するのに必要な主要な評価指標。具体的な数値目標として示されなければならない。

本件担当  
企画調整課企画調整係  
0997-43-5900(内線112,113)  
kikaku@yakushima-town.jp